

高知県感染症発生動向調査（月報）

2018年12月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第49週(12月3日～)から第52週(～12月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における12月の上位6疾患の合計は81.33で11月の4週換算値44.09と比べて増加した。増加の主因はインフルエンザと感染性胃腸炎の増加である。インフルエンザは注意報値10を超え、流行が始まった。

1位は感染性胃腸炎で35.78（11月1位4週換算値23.50）と増加した。2位はインフルエンザで24.27（同8位1.91）と著明に増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で11.48（同2位9.54）と増加した。4位は流行性角結膜炎で3.68（同3位3.37）と横ばいであった。5位は伝染性紅斑で3.46（同5位2.57）、6位は咽頭結膜熱で2.66（同7位2.00）と増加した。

高知県内外で風疹の流行が拡大し続けている。第47週から第50週（12月16日）までに、合計463例の風疹の報告があった。その結果、本年の報告が累積で2,713例（うち2,556例 94.2%が検査診断例）になった。都道府県別でみると、多い順に、東京都、千葉県、神奈川県である。高知県では49週（11月30日）に、高知市から成人の風疹が1例報告された。続いて51週、52週と小児例、成人例が報告され、二次感染が確認された。高知県では20年以上にわたって本格的な流行がなかったこと、予防接種未施行者（すなわち風疹感受性者）が中年～壮年者に数多く存在することなどから、本格的な流行となる可能性が高く、対策が急がれる。

2012年（風疹患者2,386人が報告）～2013年（患者14,344人が報告された）の風疹流行で、45人の先天性風疹症候群を出したことは記憶に新しい。近年、小児予防接種の徹底によって、患者の年齢層が小児から成人（主として30-50歳代男性）へシフトする現象が海外でも確認されていたが、日本ではこれがはじめての経験であった。

2013年の風疹流行に際して米国防疫センター（CDC）は、妊婦の日本への渡航を控えるように渡航警戒情報（レベル2）を出していた。今回も流行がさらに拡大すれば、東京五輪を控えて、同様の事態となるだろう。思い起こせば、リオデジャネイロ五輪では、ジカ熱の流行で妊娠可能性のある女性に渡航警戒情報が出されていた。「2020年東京五輪で風疹流行による渡航警戒情報」といったシナリオは、先進国として不名誉すぎる。何とか流行拡大をくいとめたい。

正確なサーベイランスのために、臨床医が見逃すことなく風疹を診断することが重要だが、風疹の診断はたやすくはない。発疹性疾患を診たら、積極的に咽頭スワブ、EDTA血、尿を採取し、衛生研究所に検査を依頼する。風疹IgM抗体は疑陽性が少なくないので単独での診断は推奨されない。

先天性風疹症候群の発生を防ぐためには、妊婦への感染を防止することが重要であり、妊娠出産年齢の女性および妊婦の周囲の者のうち感受者を減少させる必要がある。

日本の予防接種制度をふりかえると、昭和54年4月1日生まれ以前の男性（39歳以上）は、一度も風疹ワクチンを受ける機会がなかった。30～50代の男性に蓄積した感受性を早急に減少させることが、今回の風疹流行を抑制するためのカギとなる。このため、厚生労働省は『2019年～2021年度末の約3年間にかけて、これまで定期接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（現在39～56歳）を対象に、風疹の抗体検査を前置した上で、定期接種を行う』と発表した。接種率向上のために休日の予防接種や実施場所、方法について十分かつ早急な検討が必要だろう。

各事業所の産業医、健康管理業務者への啓発が必要であり、2014年に国立感染症研究所が作成した「職場における風しん対策ガイドライン」を参照されたい。

産科医師、妊婦への啓発も重要である。日本産婦人科学会による「産婦人科診療ガイドライン2017年版」にあるとおり、妊娠中の検査で風疹HI抗体価が低いもの（ ≤ 16 倍）には、産褥早期の風疹（またはMR）ワクチン接種が勧められている。これを推進すれば、次の妊娠では先天性風疹症候群を回避することができる。

当然ながら、麻疹風疹ワクチン定期接種の対象者（1歳児と就学前の児）はすぐに接種を済ませてほしい。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	49週	50週	51週	52週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		8.86	9.24	10.10	7.58	35.78
2	イ ン フ ル エ ン ザ		1.70	3.35	8.05	11.17	24.27
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.07	2.96	3.25	2.20	11.48
4	流 行 性 角 結 膜 炎		0.94	0.95	0.98	0.81	3.68
5	伝 染 性 紅 斑		0.96	0.88	0.92	0.70	3.46
6	咽 頭 結 膜 熱		0.66	0.73	0.70	0.57	2.66

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の12月の上位6疾患の合計は48.11で11月の4週換算値22.68と比べて増加したが、全国よりも少なかった。（表2）。インフルエンザは高知県でも注意報値の10を超え流行期に突入した。上でも述べたとおり、高知市で49週、51週、52週と各1例風疹の報告があり、二次感染が確認されており、流行の危惧が現実のものとなった。

1位はインフルエンザで18.01（11月13位4週換算値0.22）と著増し、2位は感染性胃腸炎で17.44（同1位10.11）、3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.60（同2位4.56）、4位はRSウイルス感染症で1.90（同6位1.58）といずれも増加した。5位は流行性角結膜炎で1.66（同3位2.40）、6位は手足口病で1.50（同4位2.32）と減少した。上位6疾患ともに全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	49週	50週	51週	52週	計
1	インフルエンザ		0.71	1.15	4.92	11.23	18.01
2	感染性胃腸炎		4.37	4.10	3.97	5.00	17.44
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.53	1.77	2.23	2.07	7.60
4	RSウイルス感染症		0.27	0.70	0.60	0.33	1.90
5	流行性角結膜炎		0.33	0.33	0.33	0.67	1.66
6	手足口病		0.67	0.33	0.37	0.13	1.50

2. 全体の傾向

麻疹の報告なし。風しんは、49週（11月30日）に高知市から成人の風疹が1例報告された。続いて51週、52週と小児例、成人例が報告され、二次感染が確認され、流行が本格的になりそうな見通しである。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 864名（11月 13名）。9月に29名と小流行がみられ、10月2名、11月13名と推移したが、12月になって著増し、全国でほぼ一斉に流行が始まった。昨季につづいて早い年内での流行開始となった。今季第50週までに全国で検出されたウイルスはAH1 pdm09が216株（72.5%）、AH3が75株（25.2%）、B型が7株（2.3%）（山形系統4株、ビクトリア系統3株）である。

県下全域で報告されたが、中央東、高知市、須崎、中央西の順に多く、この地域では注意報値10を上回った。高知県でも今季はじめてウイルスが検出された。AH3 NTが7件、AH1 pdm09が2件検出され、全国の趨勢と異なる点で注目される。

2) 咽頭結膜熱

報告数 38名（11月 32名）。中央東、須崎、高知市、幡多、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスは、咽頭結膜熱から検出された例はないが、感染性胃腸炎からAdenovirus 2型が1件、その他の感染症から6型が1件検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 228名（11月 171名）。平年並みの報告数である。高知市、須崎、中央西、中央東、幡多、安芸の順に多く報告があった。細菌は*Streptococcus pyogenes* TB3264が1件検出された。

4) 感染性胃腸炎

報告数 523名（11月 379名）。増加したがそれでも例年と比べ少なめの報告数である。県下全域から報告があり、須崎、中央東、高知市、中央西、幡多、安芸から表記の順に多く報告された。病原体は、Sapovirus genogroup unknownが5件、Norovirus GII NTが4件、Adenovirus 2型、Coxsackievirus A4、Echovirus 11、*Salmonella Enteritidis*が各1件検出された。

5) 水痘

報告数 24名（11月 32名）。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。中央西、

高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 45名（11月 87名）。初夏に流行が始まる感染症で、2017年は過去10年で最大の流行となった。8月以降は減少増加をくりかえし、2018年に入っても完全に終息しないまま、5月から再び流行期に突入したが、前年よりも流行規模は小さく平年並みであった。中央東、中央西、高知市、須崎から表記の順に多く報告された。ウイルスはEnterovirus 71が2018年1月以降で合計21件検出された。Coxsackievirus A16の検出が2018年7月以降で合計17件検出されていて、流行ウイルスのシフトが認められた。12月はCoxsackievirus A16が2件、Enterovirus 71が1件検出された。

7) 伝染性紅斑

報告数 33名（11月 29名）。平年並みの推移である。高知市、中央東、中央西、幡多から表記の順に多く報告された。その他の診断とされた患者からウイルスはParvovirus B19が1件検出された。

8) 突発性発疹

報告数 35名（11月 64名）。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 5名（11月 12名）。例年6-7月から流行がみられるが、2018年は遅れて8月から増加してきた。そのため、9月は同時期として過去10年間で最多、10月は2番目に多い報告数だったが11月以降は終息に向かっている。中央西、幡多、高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 7名（11月 7名）。2017年夏以降は、少ない数字で推移している。中央西、高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 57名（11月 59名）。2017年の8-9月は季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間ですべての月間報告数のうちで最多であったが、10月以降は減少していた。2018年も昨年同様に夏季からの流行開始で、9月としては昨年に次ぐ大きな流行になったが10月以降は減少した。安芸をのぞき全域から報告があり、とくに須崎、高知市、中央東、中央西から多く報告された。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 5名（11月 9名）。2018年8月は過去10年間で最多の報告を記録した。高知市のみから5名報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（11月 2名）。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

14) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（11月 0名）。2017年から少ない報告数で推移している。無菌性髄膜炎の患者からHerpes simplex virus 1型が1件検出されている。

15) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 8名（11月 10名）。高知市から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 21名（11月 25名）。年並みの変動の範囲である。中央東、高知市、安芸から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（11月 0名）2018年は報告は6月に1例の報告があった。2014年は計4例、2015年、2016年は各1

例、2017年は2例の報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成30年12月）

類型	病名	報告月												総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
2	結核	4	11	14	12	8	6	8	6	5	6	14	3	97
3	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	1				4
4	日本紅斑熱				1	4	3	2		1	2			13
	つつが虫病											1	1	2
	レジオネラ症		1						2	3	1	1	1	9
	重症熱性血小板減少症候群					4	1							5
5	アメーバ赤痢						1			2				3
	ウイルス性肝炎										1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1		1		5	6	2	1	3	1	21
	急性弛緩性麻痺										1			1
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1											1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			1		1		1				6
	後天性免疫不全症候群	2		3	2	1							1	9
	ジアルジア症		1											1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	1	2		1		1		1		7
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3		2	1			1			1		14
	水痘(入院例に限る)								1			2		3
	播種性クリプトコックス症	1	2						1				1	5
	梅毒	3	1	1	2	3	1	1	3	2			2	19
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											1		1
	百日咳	13	24	16	16	35	11	21	18	6	1	4	8	173
	風しん												3	3
		総計	32	45	36	36	60	23	40	40	24	13	28	21

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2018年

12月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ	30	296	345	68	67	58	864	13	884
小児科	咽頭結膜熱		17	13	1	4	3	38	32	30
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	42	125	19	21	20	228	171	220
	感染性胃腸炎	14	160	195	40	52	62	523	379	373
	水痘		4	11	6		3	24	32	58
	手足口病		26	12	6	1		45	87	51
	伝染性紅斑		11	20	1		1	33	29	1
	突発性発疹	2	6	18	3	2	4	35	64	44
	ヘルパンギーナ			1	2		2	5	12	7
	流行性耳下腺炎		1	3	2		1	7	7	6
	RSウイルス感染症		11	28	3	11	4	57	59	82
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			5				5	9	
STD	性器クラミジア感染症			1				1		1
	性器ヘルペスウイルス感染症			1				1		
	尖圭コンジローマ									1
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎								2	
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			8				8	10	7
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								3	2
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			1				1	2	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	4	16				21	25	21
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		48	578	803	151	158	158	1,896	936	1,788
前月		46	185	497	60	61	87			
前年同月		108	246	775	188	97	374			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

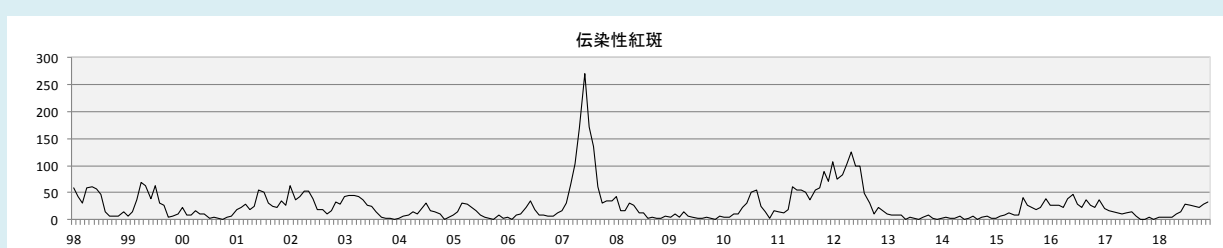
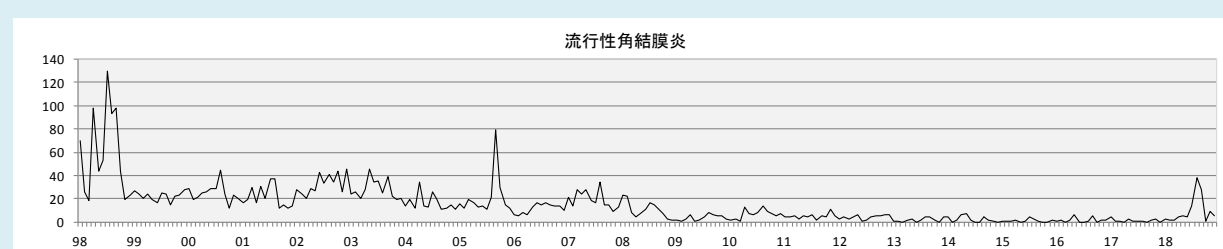
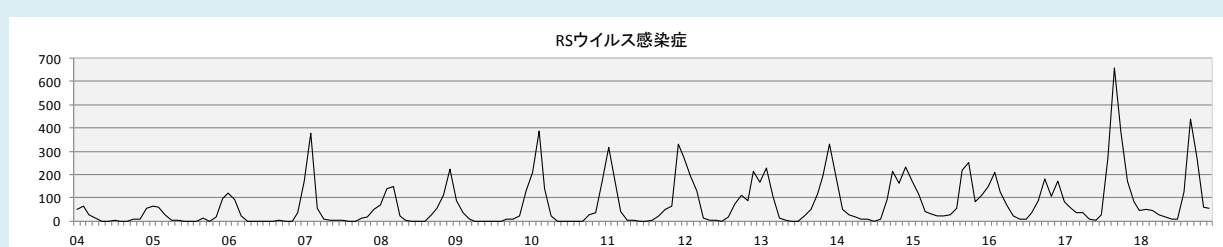
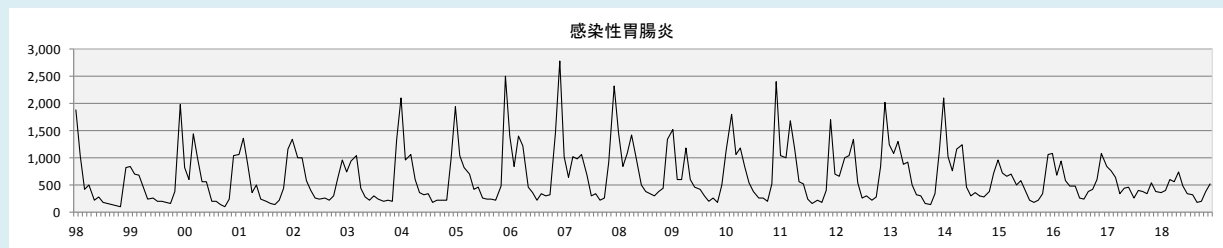
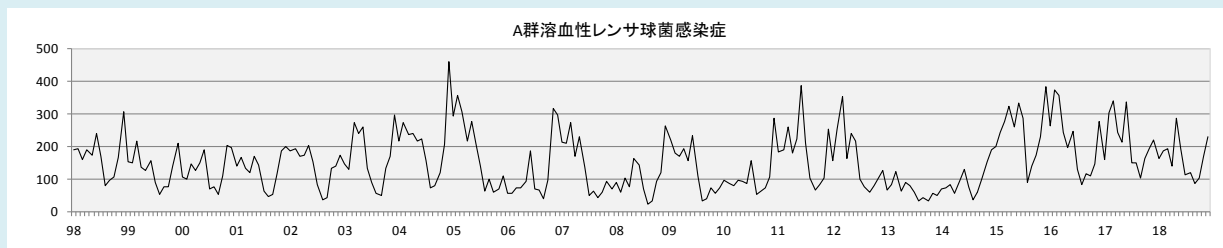
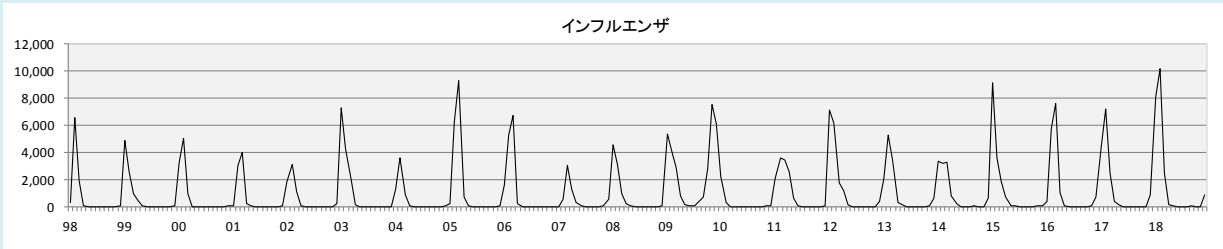
2018年

12月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	7.50	26.91	21.57	13.60	16.75	7.26	18.01	0.27	18.42
小児科	咽頭結膜熱		2.43	1.17	0.33	2.00	0.60	1.27	1.07	1.01
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	6.01	11.37	6.33	10.50	4.00	7.60	5.70	7.33
	感染性胃腸炎	7.00	22.85	17.73	13.33	26.00	12.40	17.44	12.64	12.43
	水痘		0.57	0.99	2.00		0.60	0.80	1.07	1.94
	手足口病		3.71	1.08	1.99	0.50		1.50	2.90	1.70
	伝染性紅斑		1.57	1.81	0.33		0.20	1.10	0.96	0.03
	突発性発疹	1.00	0.86	1.63	0.99	1.00	0.80	1.16	2.14	1.46
	ヘルパンギーナ			0.09	0.66		0.40	0.16	0.39	0.23
	流行性耳下腺炎		0.14	0.27	0.66		0.20	0.23	0.23	0.19
	RSウイルス感染症		1.58	2.55	1.00	5.50	0.80	1.90	1.97	2.73
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			5.00				1.66	3.00	
STD	性器クラミジア感染症			0.50				0.17		0.17
	性器ヘルペスウイルス感染症			0.50				0.17		
	尖圭コンジローマ									0.17
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎								0.26	
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			1.60				1.01	1.26	0.89
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.39	0.26
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			0.20				0.13	0.26	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	4.00	3.20				2.63	3.13	2.63
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		16.00	66.63	60.26	41.22	62.25	27.26	51.17	29.34	47.47
前月		23.00	25.75	41.04	19.72	30.25	16.53			
前年同月		45.50	29.47	57.79	45.18	32.50	60.34			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成30年12月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

12月はウイルス76件、細菌2件の搬入があり、そのうちウイルス35件、細菌2件の病原体を検出し、また、平成30年11月に搬入された検体でウイルス7件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 2件、Adenovirus 6 1件、Adenovirus 31 1件、Coxsackievirus A4 1件、Coxsackievirus A16 2件、Cytomegalovirus 2件、Echovirus 11 1件、Enterovirus 71 1件、Epstein-Barr virus 2件、Herpes simplex virus 1 2件、Human herpes virus 7 1件、Human parvovirus B19 1件、Influenza virus A H1pdm09 2件、Influenza virus A H3 NT 7件、Norovirus GII NT 4件、Rhinovirus 7件、Sapovirus genogroup unknown 5件であった。また、細菌の内訳は、*Salmonella Enteritidis* 1件、*Streptococcus pyogenes TB3264* 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	4ヶ月	女	不明発疹症	39°C,発疹,	ぬぐい液	11/10	Cytomegalovirus
2	6	女	消化器感染症	腹痛,	ふん便	11/20	Adenovirus 31
3	1	女	川崎病疑い	40°C,上気道炎,	鼻腔	11/22	Rhinovirus
4	2	男	感染性胃腸炎	39°C,	ふん便	11/24	Adenovirus 2
5	2	男	気管支喘息	38°C,咳嗽,上気道炎,	鼻腔	11/26	Rhinovirus
6	2ヶ月	男	—		髄液	11/26	Herpes simplex virus 1
7	4	女	咽頭結膜熱、アデノウイルス感染症	40°C,咳嗽,肺炎,発疹,結膜炎,	ぬぐい液	11/26	Rhinovirus
8	3	女	不明発疹症	36°C,上気道炎,発疹,	ぬぐい液	11/27	Rhinovirus
9	4	女	手足口病	水疱,発疹,口内炎,	ぬぐい液	11/27	Coxsackievirus A16
10	9ヶ月	女	アデノウイルス、ロタウイルス	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	11/27	Adenovirus 6
11	4	女	感染性胃腸炎	下痢,腹痛,	ふん便	11/28	<i>Salmonella Enteritidis</i>
12	1	男	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	11/29	Adenovirus 2 Sapovirus genogroup unknown
13	2	女	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	11/30	Norovirus GII NT Sapovirus genogroup unknown
14	3	女	咽頭結膜熱、川崎病も疑われます	39°C,咳嗽,発疹,結膜炎,肝機能,	鼻咽頭ぬぐい液	12/2	Rhinovirus
15	3	男	—		ぬぐい液	12/3	Rhinovirus
16	40	男	インフルエンザ	39°C,	ぬぐい液	12/5	Influenza virus A H1pdm09
17	12	男	インフルエンザ	38°C,上気道炎,	ぬぐい液	12/6	Influenza virus A H3 NT
18	3	女	手足口病	39°C,	ぬぐい液	12/6	Coxsackievirus A16
19	3	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、不明	発疹,	ぬぐい液	12/7	Epstein-Barr virus
20	1	男	手足口病	発疹,口内炎,	ぬぐい液	12/7	Enterovirus 71
21	9	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	12/7	Human herpes virus 7
22	6	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40°C,嘔吐,嘔気,腹痛,	ぬぐい液	12/7	Epstein-Barr virus
23	1	男	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/8	Coxsackievirus A4 Norovirus GII NT
24	12	男	インフルエンザ	39°C,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	12/10	Influenza virus A H3 NT
25	12	女	インフルエンザ	39°C,嘔吐,嘔気,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	12/12	Influenza virus A H3 NT
26	1ヶ月	女	—	咳嗽,	ぬぐい液、ふん便	12/12	Rhinovirus
27	12	女	インフルエンザ	39°C,咳嗽,気管支炎,	ぬぐい液	12/13	Influenza virus A H3 NT
28	16	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38°C,上気道炎,	ぬぐい液	12/14	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>
29	2	女	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	ふん便	12/15	Sapovirus genogroup unknown
30	1	男	感染性胃腸炎	下痢,咳嗽,	ふん便	12/17	Echovirus 11 Norovirus GII NT
31	6	男	インフルエンザ	嘔吐,嘔気,	ぬぐい液	12/17	Influenza virus A H3 NT
32	2	男	インフルエンザ	39°C,	鼻腔	12/18	Influenza virus A H3 NT
33	11ヶ月	女	上気道炎	40°C,上気道炎,肝機能,	鼻腔	12/18	Cytomegalovirus
34	69	男	無菌性髄膜炎	40°C,中枢神経系障害,	髄液	12/18	Herpes simplex virus 1
35	2	男	感染性胃腸炎	37°C,嘔吐,嘔気,腹痛,	ふん便	12/22	Norovirus GII NT Sapovirus genogroup unknown
36	1	女	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	12/22	Sapovirus genogroup unknown
37	9	女	—	発疹,	ぬぐい液	12/23	human parvovirus B19
38	43	男	インフルエンザ	40°C,咳嗽,	ぬぐい液	12/24	Influenza virus A H1pdm09
39	2	女	インフルエンザ	40°C,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	12/25	Influenza virus A H3 NT

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2018年												2018年 総計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>			1			1		1					3	
	<i>Streptococcus pyogenes T3</i>			1										1	
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>				1		1		1					3	
	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>						1							1	
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>						2		1	1		4	2	1	11
	Epstein-Barr virus													2	2
	計			2	1	2	3	1	3		4	2	3	21	
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	17	12	7	1	1							7	45	
	Influenza virus A H1pdm09	28	3		1								2	34	
	Influenza virus B /Victoria	3	1		2									6	
	Influenza virus B Yamagata	21	7	4	3									35	
	計	69	23	11	7	1							9	120	
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1					2					1		4	
	Adenovirus 2	1	1		2	1		1						6	
	Adenovirus 8								1	1				2	
	Cytomegalovirus					1								1	
	Enterovirus 71										1			1	
	Herpes simplex virus 1							1						1	
	Human herpes virus 6								1					1	
	Rhinovirus			1							2		1	1	5
	計	2	1	1	2	2	2	2	2	3	1	2	1	21	
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			1		1		1	1	1		2	1	8	
	Adenovirus 3										1			1	
	Adenovirus 40/41				1									1	
	Adenovirus 41				1	2	1							4	
	Astrovirus NT			1			1							2	
	Coxsackievirus A4											1	1	2	
	Coxsackievirus A9								1					1	
	Echovirus 7							1						1	
	Echovirus 11									1			1	2	
	Enterovirus 71					1								1	
	Enterovirus NT										1			1	
	Human metapneumovirus							1						1	
	Norovirus GI NT				1										1
	Norovirus GII NT	5	1	1	3	2	2	2	2				4	22	
	Rotavirus group AG9				1		1								2
Rhinovirus							1		1					2	
Sapovirus genogroup unknown	2			2	4	1	1	3		2	3	5		23	
<i>Salmonella Enteritidis</i>						1	1	1					1	4	
	計	7	1	3	9	11	6	9	7	3	4	6	13	79	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A2								1					1	
	Coxsackievirus A4									1	2			3	
	Coxsackievirus A9							1		1				2	
	Coxsackievirus A10										1			1	
	Cytomegalovirus					1								1	
	Enterovirus 68									1				1	
	Human herpes virus 6								2					2	
	Parainfluenza virus 3								1					1	
	計					1	1	4	3	3				12	
手足口病	Adenovirus 1				1			1						2	
	Coxsackievirus A4											1		1	
	Coxsackievirus A9							1	1					2	
	Coxsackievirus A16							1	5	7	2		2	17	
	Cytomegalovirus							1	1	1				3	
	Enterovirus 71	2	1		2	1	3	7	2	2			1	21	
	Echovirus 7				1									1	
	Epstein-Barr virus	1												1	
	Human herpes virus 6					1								1	
	Human herpes virus 7						2		1					3	
	Human parvovirus B19									1				1	
	Herpes simplex virus 1				1	2		1						4	
	Rhinovirus						3	5		1	1	2		12	
	計	3	1		5	4	8	17	10	12	3	3	3	69	
流行性角結膜炎	Adenovirus 2								1					1	
	Astrovirus NT													1	
	Rhinovirus						1	1						1	
	計						1	1						2	

臨床診断名	病原微生物	2018年												2018年 総計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
伝染性紅斑	Cytomegalovirus					1								1
	Coxsackievirus A9							1						1
	Herpes simplex virus 1							1						1
	Human herpes virus 7								1					1
	Human metapneumovirus			1										1
	Human parvovirus B19											1		1
	Rhinovirus							1		1				2
計			1		1		3	1	1		1		8	
流行性耳下腺炎	Epstein-Barr virus										1		1	
	Human herpes virus 7										1		1	
	Mumps virus													
	Parechovirus 1							1					1	
計							1			2		3		
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4	1											1	
	Echovirus 7								1				1	
	Human herpes virus 7							1			1		2	
	Herpes simplex virus 1							1				1	2	
	Parechovirus 3							1					1	
	Rhinovirus									1			1	
計	1						3		2		1	1	8	
RSウイルス感染症	Coxsackievirus A4									1			1	
	Respiratory syncytial virus								1	3			4	
	Respiratory syncytial virus A	1											1	
	Respiratory syncytial virus B					1							1	
	Rhinovirus					1							1	
計	1				2			1	4			8		
水痘	Varicella-zoster virus													
計														
突発性発疹	Adenovirus 2										1		1	
	Cytomegalovirus					2							2	
	Enterovirus 71						1						1	
	Human herpes virus 6	1			1								2	
計	1			1	2	1					1	6		
その他	Adenovirus 1					1			1				2	
	Adenovirus 2	1		1	1	5	1			1	2		12	
	Adenovirus 3											1	1	
	Adenovirus 5			1		1							2	
	Adenovirus 6											1	1	
	Adenovirus 8				1								1	
	Adenovirus 11										2		2	
	Adenovirus 31										1		1	
	Adenovirus 41			1	1								2	
	Adenovirus 54										1		1	
	Astrovirus NT					1							1	
	Coxsackievirus A4										3		3	
	Coxsackievirus A9						2	20	2			1	25	
	Coxsackievirus A10										1		1	
	Coxsackievirus B2							1					1	
	Coxsackievirus B4		1	1									2	
	Cytomegalovirus	1		1			2	2	3			3	1	13
	Echovirus 7							1		1	1		3	
	Echovirus 18										1		1	
	Echovirus 25									1			1	
	Enterovirus 68										1	1	2	
	Enterovirus 71						1	2	1				4	
	Epstein-Barr virus	1	1					1	1		2		6	
	Herpes simplex virus 1	1	1	1	2		3	3	1			1	13	
	Human herpes virus 6	2	1	1	2	3	2	3			1		15	
	Human herpes virus 7	1			3	2	1	4	3	1	1	3	1	20
	Human metapneumovirus	3	1	4	2	2					1	1	14	
	Human parvovirus B19							1	1	2			1	5
	Influenza virus A H1pdm09	1									1		2	
	Influenza virus B Yamagata		2										2	
	Norovirus GII NT	1				1		1			1		4	
	Parainfluenza virus 2	1											1	
	Parainfluenza virus 3				1	1	5	4		1			12	
	Parechovirus 1								1	1	1		3	
	Parechovirus 3							1	1	1			3	
	Respiratory syncytial virus A										2		2	
	Respiratory syncytial virus B										1		1	
	Respiratory syncytial virus								1	2			3	
	Rhinovirus				1	5	2	5	2	16	8	6	3	48
	Rotavirus group AG1							1					1	
	Rotavirus group AG3							1					1	
	Sapovirus genogroup unknown						1				1		2	
	Enteropathogenic <i>Escherichia coli</i> OUT											1	1	
	計	13	7	11	14	22	22	49	18	31	25	20	7	239
	総計	97	33	29	39	48	43	87	46	59	42	38	37	596

